



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2022年11月号ブリテン

通算第136号 2022. 11. 28



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2022—2023年度 主 題 (Theme)

国際会長: (IP) K・Cサミュエル (インド) 「フェロシップとインパクトで次の100年」
アジア太平洋地域会長: (A・P) チェン・チ・ミン (台湾) 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
東日本区理事: (RD) 佐藤 重良 (甲府21) 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
北東部長: 大久保 知宏 (宇都宮) 「クラブのミッションを育てよう」
仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健 「活動の協働を進め、クラブの活性化を図ろう」

今月の聖句

『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。』

ローマの信徒への手紙 12章 15節
加藤 雄一

巻頭言

『クリスマスの思い出』

高篠伸子

12月になると街は急にクリスマスの飾りや音楽で華やいだ雰囲気になります。何故か優しい気持ちになるのは気のせいでしょうか。

私が子供のころ、クリスマスイブは特別な日でした。夕飯後、子ども達は一度就寝し、深夜になると起こされて家族そろって深夜ミサのため教会に行きました。真っ暗な中、教会までの道のりや深夜ミサがどうだったかは全く記憶にないのですが、いつもの退屈な御ミサであったことは確かです。それでも毎年ワクワクしたものです。翌日の枕元に置かれたプレゼントや、デコレーションケーキが楽しみだったからかもしれません。70歳を超えても小さい頃の楽しかった思い出で幸せな気持ちになれるのは不思議です。クリスマスにどの子どもたちにも幸せのプレゼントが届くことを願わずにはられません。

2022~2023 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	E M C	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
書 記	多田 修	D B C	菅野 健	メネット会長	多田 純子
会 計	多田 修	D B C	村井 伸夫	ブリテン	増山 和憲
副 会 計	本野日出子	ユース	佐藤 剛	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	ユース	清水川 洋	メネット会	加藤 真紀子
監 査	高篠 伸子	YMCA サービス	門脇 秀知	メネット会	門脇 たまえ
地域奉仕	阿部 松男	YMCA サービス	佐藤 善人	担当主事	増山 和憲
C S	本野日出子				

11月第1・第2合同例会 強調月間：ワイズ理解・ファミリーファスト							
在籍者	14名	出席者	6名	メイキャップ	0名	出席率	42%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	1名	ニコニコ	6,000円		

<p>◆11月第1・第2合同例会報告◆</p> <p>日 時：11月2日（水）18：30～</p> <p>場 所：仙台YMCA立町会館</p> <p>参加者：阿部メン、加藤研メン、門脇メン、加藤雄一メン、菅野メン、多田メン、加藤メネット、多田メネット、増山</p> <p>ゲスト：小林尚美氏 （仙台YMCA国際ホテル専門学校）</p> <p>◇開会点鐘から始まった第1・第2合同例会は、菅野会長より「11月の行事に向けて最後の確認をしながら、みんなで考えていきたい。」と挨拶があり、11月19日（土）に行われる『第2回日本語でプレゼンテーション』に向けて、最終的な協議を行いました。会場の見取り図や、準備物、現在の進行状況など1つ1つ確認しながら進めていきました。コロナウィルス感染者も改めて増えてきており、緊急時の実施判断についても話されました。小林さんより、ワイズメンの皆さんと同様に、仙台YMCA国際ホテル専門学校の学生も、当日に向けて発表の練習に取り組んでいると報告がありました。</p> <p>※『日本語でプレゼンテーション』の様子について、3ページ目に掲載していますのでご確認下さい。</p> <p>報告・連絡として、多田メネットより、第51回仙台YMCAクリスマスのチケットの配布がありました。コロナ禍ということで、仙台YMCAの特別活動も例年とは異なる形式で実施されてきましたが、ワイズの皆様の温かい支援に感謝しながら、閉会となりました。</p> <p style="text-align: right;">報告：増山</p>

第2回日本語でプレゼンテーション報告

3年前偶然に秋保ホテルクレセントで働くYMCA卒業留学生から頂いた「おもてなしの心」。真摯に働く様子に心奪われ、母国を遠く離れ懸命に生きる彼らに何か応援できることはないか自問自答。その結果がこの企画でした。今年は授業の中に「スピーチ」を取り入れていたそうです。出場は個人4名、グループ1組、5つの演題が発表されました。「ベトナムのお正月の過ごし方」「日本人のペットに対する考え方」「趣味・旅行をすること」「日本人の働き方」「私の好きな仙台の風景」どれも聴衆が関心を持つ演題でした。学生にこの催しの参加を促したとき、自ら手を挙げチャレンジの意思表示をしたそうです。大変だったと思います。日本語を駆使することは、とても見事な発表でした。わずか数年でここまでの語学力を身に付けた努力に脱帽します。志が違うのでしょうか。これから日本の地で生きてゆく覚悟を知りました。

交流タイムでの「ネパールダンス」。艶やかな民族衣装に身を包みリズムに乗った異国情緒溢れる踊りを披露して頂きました。昨年にはなかった「歌」の披露。12名の合唱「365日の紙飛行機」。明るく屈託なく歌う彼らの姿に、思わず涙が溢れました。今年も卒業生に参加頂きました。秋保ホテルクレセントにお勤めのマイナさんです。この催しを考えるきっかけを与えてくれた人です。今年も母国ケニアに帰省したそうです。

一般28名、学生18名合わせて46名の参加でした。ワイズも学生もそれぞれの役割を果たしながらの手作り「プレゼンテーション」でした。コロナが消えた来年はもっと多くの皆さんが集えるよう頑張ります。

報告：加藤研



第51回仙台YMCAクリスマス

仙台YMCAクリスマスは、一年の締めくくりの到来を告げる時期に、仙台在住の留学生と宮城県民との交流の場として、クリスマスをお祝いし、ボランティアやワイズメンズクラブによる様々な催し物、おいしい料理を共にしながら、盛りだくさんの内容で、にぎやかで楽しいイベントの一つとして記憶されている方々が大変多いと思います。

私も数少ない機会ながらも、慣れない厨房に立って料理の準備をしたり、留学生の方とお話したり、ホテル学校の生徒さんが製作したサンタパンのお土産など、いろいろと楽しい思い出があります。

コロナ禍にあっても、静かに守り続けられた仙台YMCAクリスマスは、昨年50周年の節目を迎えることができました。

第51回仙台YMCAクリスマスは2022年12月9日（金）18時よりトークネットホールみやぎにて開催されます。内容につきましては、現在実行委員会で準備をしておりますが、礼拝や交流ゲームを中心とし、留学生の方々との交流の場を設けたいと思います。コロナ禍の中で入場制限を設け、感染症対策に努めながらの開催となりますが、皆様とともに心静かにクリスマスをお祝いする場となればと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ 多田 修

YMCA通信

- ◆第5回岩佐イチゴ農園イチゴワークが11月20日（日）に行われました。今回は植え替え用の苗の根の土落としを行いました。苗が病気になるので使えなくなった時の為に残しておいた苗です。今回は6名での作業になりました。イチゴの収穫の最盛期を迎えるため、2022年度のイチゴワークは終了となりました。
- ◆第51回仙台YMCAクリスマスが12月9日（金）に行われます。YMCA立町会館の玄関では、クリスマスツリーが会員の皆様を出迎えています。今年も留学生と素敵な交流があり、クリスマスのお祝い出来るように準備を進めています。

12月の予定

- ◆12月 3日（土） 冬季ユースリーダー委嘱状授与式 11:00～
- ◆12月 7日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会 18:30～
- ◆12月 9日（金） 第51回仙台YMCAクリスマス
- ◆12月21日（土） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会 18:30～

【編集後記】

巻頭言で高篠さんがクリスマスについて寄稿していました。私も子どもの頃は、ドキドキ・ワクワクしていた思い出があります。なかなか寝付けなかった夜。サンタさんが入って来れるように窓の鍵を開けていたこと。数十年経つ今でも、心がポツとする思い出です。

【K・M】